

## ★総合運動公園の他候補地より優れている点について

- 自然豊かな環境で子供たちが学ぶことができる（広い青空の下、赤城山や谷川岳を望みながら学校生活を送ることによって、おおらかな心が育まれる。）
- 四方に道がつながっており、緊急時はお迎えて渋滞が起こらず、すみやかに下校が可能。
- 昭和村の中心に建てることによって過疎化地域の発展、人口増加が望める。
- 広い駐車場の確保が容易。
- その他の公共の施設を作る場合、用地の確保が容易。
- 自然災害のリスクが少ない。
- 「日本で最も美しい村連合」に加入しており、昭和村らしい環境で郷土愛を育てる。
- 通学面で不公平が減り、若者が戻って子育てしやすくなる。
- バス通学になることによって、晩婚化による祖父母の協力が得られなくとも安心して通学できる。

- 
- スクールバス通学により児童、生徒の安全が図れる。
  - 環境の良い場所でのびのびと学校生活をおくる事ができる。
  - 今後の昭和村を考えた時、あらゆる施設を一体にする事が大切なのは、一体に出来る場所が総合運動公園である。

- 
- 既存の路線バスが合流しているので、路線バスの利用が可能。
  - 面積的な中心に近い。
  - 総合グラウンドの利用も考えられる。
  - イベント時（入学式・卒業式・運動会）路上駐車や渋滞が起きにくい。
  - 送迎時の渋滞も起きにくい。
  - 交通が多くなか校庭で体育や授業も人目を気にしない
  - 比較的静かな場所なので授業に集中できる。
  - 設備の増設も十分考えられる（土地が広いので）
  - 土地取得の費用が抑えられる。

- 
- 比較的安易に取得できると思った。
  - 早く場所が取得出来れば予定通り建設できると思う。

- 安価に取得出来ればその分他に回すことが出来ると思う。
- 昭和村のほぼ中心であるため、災害時や子供に何かあった場合、自宅からものすごく遠いと言う不公平が少なくなる。
- 近くに住宅が少ないため、日照権や騒音問題になりにくい。

- 
- まずは建設にあたり広大な用地が確保できる事
  - 既存のグラウンド・野球場・テニスコート・サッカー場等を改修・再整備する事により新たに建設するよりコストを大幅に圧縮でき、周辺の保安林を活用し公園としての整備も可能。それにより校舎に付属する体育館等必要な施設を有意義な形で設計、建設でき子供たちがのびのびとした学校生活がおくれるのではないかと。
  - 周辺の土地の地権者が少なく用地買収に係る機関、費用が少なくなる。
  - 周辺の交通量が少ないため、通学時保護者送迎における交通渋滞が減少し、安全の確保ができる。
  - 中央病院に来る救急車、ドクターヘリ等の騒音も少なく授業に集中できる。
  - 駐車場、バス送迎用ロータリーを広く確保する事により、災害時、通学時安全な移動が可能。
  - 広い用地を確保しておく事により、施設の増設が容易にでき、空いた用地は公園等憩いの場としての活用が見込める。
  - 広いグラウンド等を確保する事により、小中学校の授業における使用の重複を避けられる。

- 
- 総合運動公園なら全員通学バスになるため通学の不公平や安全の問題が解消出来る
  - 配置をよく考えれば村有地内ですむのでは。

- 
- 7つの候補地の中で、運動公園隣接地は小中学校を統合するのに十分な面積があり、新しい校舎を建てるのに適していると思います。
  - スクールバスの運行がスムーズに行くのであれば全ての児童・生徒の通学が安心であると思います。
  - 公園内の他の施設の利用も可能であり、部活動に利用できる。

- 
- 現行の各学校の立地に対して、夏場も冷涼で風通し、ロケーションも良く、自然に恵まれていて快適な学習環境が期待できる。

- 用地の形状に制約されにくく、校舎設計の自由度が高い。
- 災害リスクが比較的少なく、ヘリポート、防災倉庫の新設など防災拠点としての整備も可能。
- 現行の敷地も含めて考えれば用地買収費用の削減に貢献できる。
- 工事用道路、資材置き場等、工事インフラ整備が少なくて済む。
- 沼田市方面から見た場合、昭和村のランドマークになる。

- 
- 保育園を建てるスペースやバスロータリーの確保、保護者用の大駐車場の確保がしやすい。また、引き渡しの際に保護者車両の経路を設定しやすい。
  - 現存する住宅等を移動させることは難しいため、家が周りにないことが重要。
  - マラソン大会を実施するのにコースが作りやすい。
  - グラウンド、野球場、サッカー場、テニスコートが近く部活動に有効活用できる。(地域移行がしやすい)
  - 全員通学バス利用にすれば不公平感が解消される。

- 
- 敷地面積が広大でゆとりがあり校庭や校舎もゆとりをもって建設できる。
  - 全員がスクールバスで通学ということになるので、登下校の安全が確保できる。  
(スクールバスの維持経費については考えていく必要がある)
  - 敷地にゆとりがあり、これからまわりに社会教育としても活用できる施設を建設していくこともできる。
  - 災害時の避難施設としての活用しづらい面が心配である。

- 
- 教育環境としては最高
  - 土地購入費が少ない
  - 利根町が合併するかも  
(●スクールバス等通学経費に問題がある)  
(●冬の積雪対策)  
(●熊、イノシシ等の対策)

- 
- ⑦運動公園隣接地との提案ですが、隣接地に建設となると初期費用が大きくなります。そこで、⑦案で進めるのであれば、既存のグラウンド、サッカー場、野球場、テニスコート、遊具、広場などをできるだけそのままの状態でも有効活用し、校舎や体育館、付帯施設を建設するのがよいと思います。このことを前提にした場合、⑦案の良

さは以下のようなところにあると考えます。

- 既にあるグラウンド、サッカー場、野球場、テニスコート、遊具、広場などをそのまま有効活用することで、建設に係る費用を大きく削減できる。
- 十分な用地面積を確保できるため、バスターミナルや保護者の送迎用ロータリー、地域交流施設などの付帯設備の整備も余裕をもってできる。
- 候補地内の多くが村所有もしくは公的な土地であり、建設までの期間も大きく削減でき、速やかに校舎建設に移行できる。
- 昭和村全域を考えるとほぼ中心にあり、望郷ライン、農免道路、昭和IC、あぐりーむ昭和などからのアクセスもよく、今後の村の政策（宅地造成・分譲、集合住宅建設、企業誘致）によっては大きく発展する可能性がある地域である。
- 周辺道路が広く登下校時の渋滞の心配はなく、地域の多くの方が訪問しやすい場所である。
- 自然災害、豪雨、台風、地震などに強く、避難施設として多くの住民の安全を担保できる場所である。
- 村内全域にスクールバスを効率的に走らせることで、児童生徒の安全・安心な登校を実現できる。（熊・鳥獣対策、不審者対策、自然災害対策）
- 河岸段丘の上段に位置し、風光明媚、展望もよく昭和村の象徴的な場所である。県内外に誇れる昭和村ならではの学校を実現できる。
- 今後の他市町村からの人口流入も期待できる、理想の学校を建設できる場所である。

---

#### ○交通面

当候補地は、望郷ラインに面しており、直線道路で見通しもよい。

道路の舗装もしっかりしており、交通量も少なく比較的安全である。

当候補地が昭和村のおおよそ真ん中に位置しているため、生越、貝野瀬清水、中野、赤城原松の木、永井など、昭和村の端の地域でも通学時間がおおよそかわらないこと、極端な遠方からの通学者が減る。

#### ○安全性

地震や洪水などの自然災害のリスクが少ない。

周辺にハザードマップにかかることなく、自然災害の被害はない。

#### ○教育環境

静かで学習に適した環境である。

また、交通量が少ないのでマラソン大会が容易にできる。

保護者の観戦も可能。

#### ○敷地の広さ

グラウンド周辺は開発されておらず、邪魔な建物もないため、学校建設に関する施設（バスロータリーや駐車場など）の建設が円滑にできる。

また、付帯施設（給食センターや保育園など）も十分検討できる場所が確保できる。

○土地の購入金額

グラウンド周辺は、農地や村の持ち物なので、購入金額が安く済む。

○郷土愛

昭和村は「日本で最も美しい村連合」である。

総合グラウンドからの景観は、日本で最も美しい村連合にふさわしい。

この素晴らしい景観で育った子供たちは、将来昭和村を誇りに思うようになる。

他地域との差別化、昭和村でしか作れない唯一無二の小中一貫校を作ることができる。

○昭和村の未来

昭和村の出生数が減り、人口減少及び高齢化が進んでいる。

今現在の人口密度で考えず、Uターン、跡継ぎの期待ができる地域もリサーチするべき。

また、グラウンド周辺の未開発地域を生かして、宅地を増やし、移住者を増やす対策を講じることができると期待できる場所である。

学校建設をする以上、子育て世代の人口増加は必要不可欠であり、一緒に考える必要がある。

---

○村有林や村所有の土地が大部分を占める為、土地取得や学校施設以外の付帯施設の増設、将来を見据えた保育園などの建設が容易。

また、小学校だけでなく中学校も含め1つの学校になることで、スクールバス通学が主体となり、安全な余裕のある大型ターミナルが必須になることから村所有の土地が多い総合グラウンド隣接地が好ましい。

○大型ターミナルに関しては災害時の防災の拠点となることも含めると必須。

○望郷ラインという整備された道路がある事で渋滞などの心配もなく、周りには農道も多々ある為、道路の選択肢が広い。また、今後の通学路整備も行いやすい。

○昭和村の中心部に位置する為、距離的な不公平差が少ないうえに、大多数の生徒がスクールバス利用によって義務教育という観点からも平等な通学が可能なのではないかと思う。

○望郷ライン沿いの景観はまさに昭和村を象徴する景観であり、学校建設によって村内だけでなく村外や県外の方にも昭和村を象徴する景観の魅力を知って頂ける絶好の機会になると思う。

- 昭和村フォトコンテストの受賞作品の中でも望郷ライン周辺の写真も多いことから、昭和村にしかない唯一無二の景観だと思います。
- 昭和村の豊かな自然や景観は人工的には絶対に作れないものであって、揺るぎない観光資源だと感じます。  
そういった環境下でこれから生きる大切な昭和村の子供たちには、学校生活や勉強を伸び伸びと学んで欲しい。  
そして昭和村の素晴らしい環境で育った子供達が、住み続けたい、将来は絶対に帰って来たい、自分の子供を昭和村で育てたい、と思えるような環境が総合グラウンド周辺にはある。
- 今までは小学校3校、中学校1校でそれぞれが地域コミュニティの核となってきましたが、昭和村の中心部に位置する総合グラウンド隣接地に小中学校が建設になることで、公園やグラウンドのより一層の利用が見込まれ、昭和村全体のコミュニティが生まれる。その為多くの人々が学校施設に触れる機会も増え、地域の枠を超えた人と人の繋がりも増える。
- 災害時の避難所として近隣市町村からの交通渋滞などの影響もなく、川の氾濫や土砂崩れなどの心配が極めて低いこともあり防災の拠点としても理想的。

- 
- 景観のすばらしさ
  - 面積の広さ、他の施設との併設が可能
  - テニス、野球、サッカー場が使える
  - 静かで勉強に集中できる
  - バス(スクールバス)が行き来する事により防犯効果が生まれるかも、トラクター盗難防止など
  - 周辺地域の活性化